

10月は国保強調月間 医療費を有効に!!

ンザなどの風邪の流行による影響があったものと思われます。

わが国の医療費は、毎年一兆円程度の増加を続けています。都留市においても、平成四年度二十三億七二六万円で、前年に比べ一億六二四九万円(伸び率七・三六%)の増でありました。

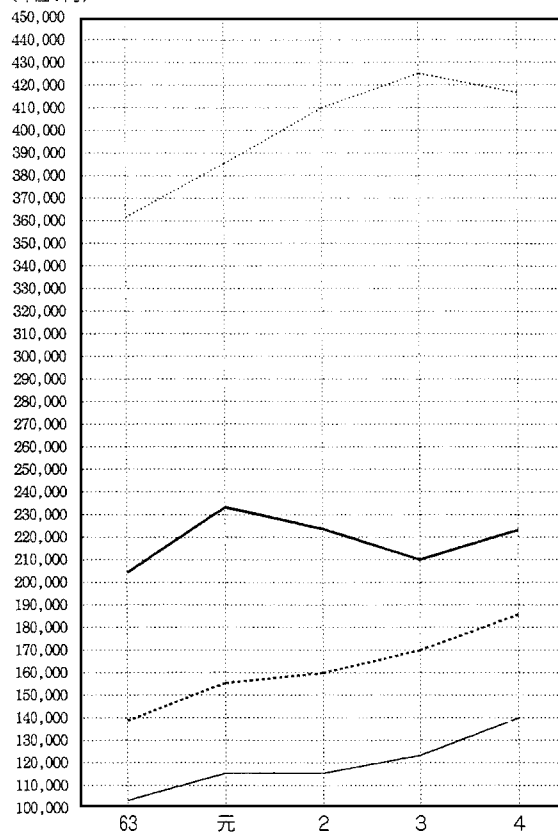
医療費の増加原因としては、次のことが考えられます。

- ①人口構成の高齢化(六十五歳人口比率がこの五年間で二・〇八%(三九一七人)から一四・三二%(四七九二人)で二・二四%(八七五人)の増。
- ②医療費の改定(平成四年四月に診療報酬と薬価基準の改定が行われ、約二・五%の増となった)

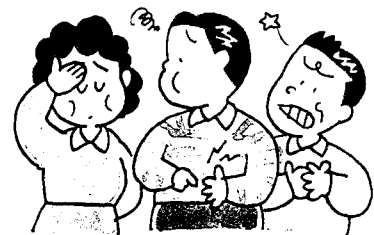
- ③医学・薬学の進歩による医療技術の高度化や機器の普及
- ④長期治療を必要とする成人病などの慢性疾患患者の増加
- ⑤お医者さんのかかり方

左の表は、過去五年間を被保険者別の一人当たり医療費の推移を表したものです。昭和六十三年度に一三万八三一四円(全体)が平成四年度には一八万六八三円となり三五%の伸びを示しております。特に、一般被保険者が平成四年度だけで一四・三二%(全体で九・四一%の伸びでした。これは、平成五年二月の医療費が高かったことから、インフルエ

被保険者別一人当たり診療費の推移



	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度
一般被保険者	102,833	114,599	114,232	121,783	139,357
退職被保険者	205,479	233,318	224,671	209,594	221,612
老保給付対象者	361,400	386,324	409,516	425,183	416,796
-----全体	138,314	154,526	159,797	170,169	186,183



医療費の分析

医療費の動向を分析するに当たって、最も重要なことの一つは、何が医療費を増加させる原因となっているのかを解明することです。そのような観点から医療費の三要素とも呼ばれる①受診率②一件当たり日数③一日当たり診療費から一人当たり診療費をだし動向を考えてみました。

受診率……一般・退職・老健とも年々上がっておりますが、県平均よりは、いずれも下回っています。

一件当たり日数……診療行為一件にかかる平均日数のことですが、ここ数年横ばいです。県平均と比べると〇・一八ポイント下回っています。

一日当たり費用額……診療実日数当たりの診療費のこと。年々増加傾向にあり、県平均を上回っております。

一人当たり診療費……診療費総額を被保険者数で除したものです。これは、県下六十四市町村中四十九番

受診率……医療機関が毎月一ヵ月間にかかった医療費を患者ごとにまとめて作成する診療報酬請求明細書(レセプト)の枚数を件数と呼び、この診療件数を被保険者数で除したものです。

医療費の三要素(全体)

平成3年度			対前年伸び率	
受診率	691.79%		5.60%	
1件当たり日数	2.90日		-1.85%	
1日当たり費用額	8,474円		2.74%	
1人当たり診療費	170,169円		6.49%	
平成4年度			対前年伸び率	
受診率	720.11%		4.09%	
1件当たり日数	2.82日		-2.90%	
1日当たり費用額	9,172円		8.25%	
1人当たり診療費	186,183円		9.41%	

目であり、県平均に比べて約二万円下回る一八万六八三円です。しかし、過去五年間で見ると平均一万一九六七円(伸び率六・九三%)で、特に平成四年度は一万六〇一四円(伸び率九・四一%)上がっています。これは、平成四年四月の診療報酬(引き上げ)と薬価基準(引き下げ)の改定による影響と思われる。

ここでいう受診率は、一年間の総診療費を年間平均被保険者数で除し、一〇〇倍したもので、被保険者が一年間にどのくらいの頻度で医療機関にかかったかを示す指標。